

# 軽井沢まちづくりの取り組みと西館・商業施設EMS

～EMSによりカーボンニュートラルに貢献します～

## 01 技術開発の背景・目的

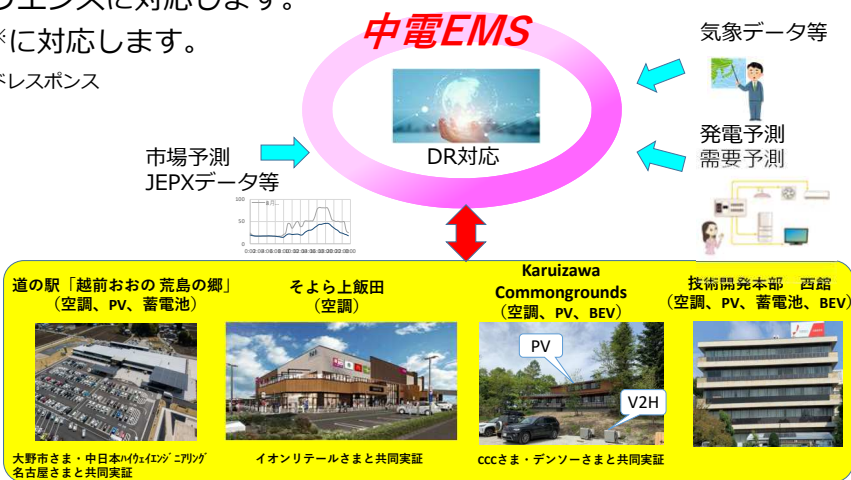
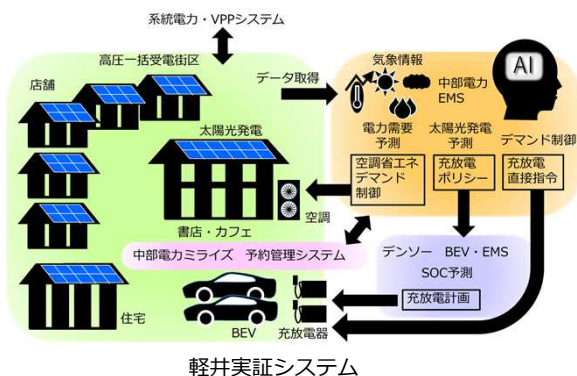
- カーボンニュートラル実現やレジリエンス対応として、ビル、工場、商業施設、街区のお客さまから、太陽光発電・蓄電池・空調・BEV等を活用したエネルギーマネジメントへのニーズが高まっています。
- 未来に繋ぐSDGsなまちづくりのために、お客さまがスムーズに導入していただけるEMSやEVサービスの開発に取り組んでいます。



## 02 中電EMSの特長・用途

- 太陽光発電・蓄電池・空調・BEV充放電器等を組み合わせることで統合制御することにより、カーボンニュートラルを実現します。
- 制御対象エリアの温湿度、CO<sub>2</sub>、人流データ、空調機内蔵センサ等、様々なデータと連携することで、快適性と省エネ性を両立します。
- 自立運転時にはローカル自動制御にてレジリエンスに対応します。
- 蓄電池と負荷を組み合わせ精度のよいDR※に対応します。

※ デマンドレスポンス



## 03 社会実装に向けた取り組み

- 街区、商業施設、事務所ビル等、様々なフィールドで実証・検証を行っています。
- 実証で得た知見やお客さまの声を元に改良を重ね、事業会社や中電グループ会社とともに社会実装に向けたサービスデザインを行っています。

## 04 研究者より

- お客さまフィールドにおける実証は、快適性の維持など責任をもって対応する必要があり、緊張感をもって実施させていただいております。
- お客さまから貴重なご意見を頂戴する機会も多く、よりよいサービス開発に生かしていきたいと思っております。

中部電力(株)技術開発本部 先端技術応用研究所



EaaSグループ  
遠藤 副長



EaaSグループ  
村川 主任